



「市政」とともに「国政」も



近畿ブロックで、4議席めざし奮闘中
小村潤さん

衆議院選挙 制度解説

☆ 2回の投票を行います。

① 比例代表は

「日本共産党」

政党名を書きます。

注意～比例代表は政党名で投票なので、個人名は無効になります。

② 小選挙区は

「候補者の名前」で
書きます。

しんぶん
赤旗を読見する



「自公政権」対「市民+野党」

「比例はやっぱり共産党」訴え

私(黒田)は 19 年間、毎月「たんぽぽだより」を発行し身近な市政報告を続けています。同時に「私たちの日常は国の政治とつながっている」と日々実感。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗・日曜版」の宣伝紙もお配りしています。

小村潤さんと

8月27日は衆議院予定候補の小村潤さん(兵庫8区・比例重複)が駆けつけてくれ、畦野駅前と一緒に訴えさせていただきました。尼崎市議会議員だった小村さんは、3人の子育てをしながら美術やバリ舞踊の先生も勤める、がんばり屋で気さくな人柄。とっても素敵な人で、衆議院選初当選をめざし、「誰もが自分らしく輝ける社会をつくろう」と近畿中を駆け回っています。

「パンケーキを毒見」

8月は、野党合同で「コロナや経済対策のために国会を開け」と訴え、全国で上映中の映画「パンケーキを毒見する」が大反響。映画を観たという人の赤旗申し込みが増加中です。この日も「しんぶん赤旗を読見する」というプラスターを作って宣伝紙をお配りしました。

「自分らしさ」社会へ

小村さんは、「男女の賃金格差をなくし、夫婦別姓の選択やパートナーシップ制度など、誰もが自分らしさを認められる社会、ジェンダー平等社会の実現を。保育料の無償化や待機児童の解消、高校生までの少人数学級の実現などのびのび子育て応援の政治に転換させましょう。」

赤旗にジャーナリスト大賞

私(黒田)は、「コロナ禍、医療も療養も保障されないままお家で亡くなっていくという酷い状況なのに、病院の統廃合やベッド削減計画を止めない。それどころか急病ベッドを減らしたところに税金をばらまく。国の政治の大元を変えて行きましょう」「ジャーナリスト大賞をもらった『しんぶん赤旗』。国民目線で政治を伝え、住民が主人公の政治を貫く新聞をぜひお読みください。」などお話しをさせていただきました。

9月3日突然、菅首相が退陣表明。内閣支持率が過去最低水準に落ち込む中、国民の世論や運動に追いつめられてのことでしょうか。結局、国会は開かれず、マスメディアは「総裁選挙一色」の異常が続いています。

野党共通政策調印

しかし、一方で9月8日、市民連合提案の「命を守るため政治の転換を」「野党共通政策の提言※」に立憲民主党、社会民主党、れいわ新選組、日本共産党の各党首が合意・署名しました。

10月にも行われる総選挙で、野党が共通政策を共有してたたかい、「政策を実行する政権の実現をめざすこと」、本気の野党共闘、政権交代に向けての取り組みがはじまりました。

※共通政策の骨子～①憲法に基づく政治の回復、②科学的知見に基づく新型コロナ対策の強化、③格差と貧困を是正する、④地球環境を守るエネルギーの転換と地域分散型経済システムへの移行、⑤ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会、⑥権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

4つのチェンジを

私たち日本共産党は、野党共闘に全力で取り組むと共に、「何よりいのち。ぶれずに、つらぬく」として、コロナ対策の具体と4つのチェンジ(①「新自由主義」にピリオド・いのちと暮らし最優先に、②CO2を最大60%削減、気候危機打開の「2030戦略」、③ジェンダー平等の日本へ、④アメリカいなりなから脱却、核兵器禁止条約に参加)を訴えています。

ぜひ、日本共産党を大きくしてください。あなたの1票で政治を変えましょう。

